

八女茶で健康 第36回

八女市の小中学校生徒児童が給茶機でお茶を楽しむ

お茶の葉（店頭で小売りされているお茶）を使ってお茶を飲む子どもたちが減少していることから、八女市は全ての小中学校に給茶機を設置し、日常的にお茶に接する機会を提供しています。

設置事業は平成27年度から進められ、平成29年度に全校（24校）で導入が完了しました。これに必要なお茶は、年間約400kgで旧市町村単位のJAやめ茶業部会支部及び県茶商工組合流通部会より無償提供されています。

給茶機は、1回ごとに淹れる方式で、機能が向上しており、お茶をおいしく飲むことができます。また、温かいお茶や冷茶なども選択できます。

衛生面については、上水道の給水管と給茶機を直結することで安全性を確保しています。給茶機の掃除は、1日1回のフィルター洗浄（10分程度）が必要ですが、先生方に何うと洗浄の負担はほとんどないということでした。

写真①は、私や八女市・JAの職員が、旧市町村単位ごとに異なる茶に対応したおいしい淹れ方のセッティングをしているところです。お茶の量は0.1g単位、お湯の温度は1度単位、浸出時間は1秒単位で微調節できますので、実際に何回も試行錯誤を繰り返して小中学生がうまいと言ってくれる最適な組み合わせを見つけています。

福岡県茶生産組合連合会事務局長 仁田原 寿一



写真① 淹れ方の給茶機セッティング



写真② JA茶業部会支部長からお茶の贈呈



八女市本村
栗原 妙子

水墨画を始めて十余年。ゼロから始めた私を根気強く御指導くださる先生方に感謝です。水墨画を習い始めて変わったのは花や樹木等、自然の風物に目が留まるようになったことです。また水墨画を通して友達も増え、楽しく交流をしています。

今日は大地の恵「ピーナツ」を描いてみました。

子にくすり
与える母も
苦い顔

ままごとに
祖母もお客
に招かれる

矢部川源流・杉の里の四季 ⑧

オカトラノオ(丘虎の尾)[サクラソウ科]



オカトラノオは山野の日当たりの良い場所や、道端、草地などで普通に見られる植物。欧米では栽培されている所もある。花期は7月～8月。花は下から上へと咲き進み、先端が虎の尾のように枝垂れる。名前は、この花穂の様子と、丘のような場所によく群生していることによる。

黒木町 松尾 重根

八女筑後看護専門学校の卵 ⑧

オープンキャンパスへのお誘い

今年も8月5日（日）、9月2日（日）、10月14日（日）の3日間、午前中にオープンキャンパス（学校説明会）を行ないます。毎年の恒例行事になっていますが、昨年は高校卒業予定の方や准看護師の資格を取得して更に上を望む方など、遠くは県外からも来られ124名の方に参加いただきました。

看護師とはどんな仕事から始まり、在校生や卒業生から直接「自分が看護師を目指した体験談や苦労話」を聞く機会となり、今から自分が選択しようとしている仕事果して適しているのか、やりがいのある一生の仕事かを見極めるチャンスになります。また、看護科を目指している人たちは、進学への不安を解消することにもなります。

当日は看護体験や個別相談にも応じています。遠方から通学している学生、学業と家庭を両立している学生、アルバイトをしている学生、男子学生などから話を直接聞くことで学校生活をより具体的にイメージしてもらえたら幸いです。是非自分の目と耳で確かめていただきたいと思います。

本校はこれまで毎年行われる准看護師試験、看護師国家試験ではハイレベルの合格者を社会に送り出すことができ、卒業生には地域はもとより遠隔地の医療の支えとして貢献していただいております。看護科は、准看護師としての学びの上に更に広く深く看護を学んでいきます。

今看護師としての仕事は揺りかごから高齢者まで幅広く、医療の担い手としての需要は今後も益々大きくなっていく事が予想されます。多くの人の関わりを通して、如何に看護職が貴重な仕事かを知る機会となります。

お気軽に足をお運び下さい。心より歓迎申し上げます。



看護科教務主任
深町 昌子

■上陽町 陽泉俳句会

ひとり旅派手な浴衣を選びけり
剪定の音に梅雨空切れるやも
うつば草隣家の庭に移住する
人もまた白より生れし七変化
懇ろに玉葱吊るす軒場かな
ここからは白壁通り八仙花
休み田の鬼百合の数増えにけり
倉ノ下和代

■紫苑句会

書を曝すセピア色したアルバムも
木下閣 山姥ぬつと出でさうな
早苗田や真只中に鳥一羽
曇天の枇杷の鈴なり明るうす
夏野菜上出来でしたと娘の笑顔
地図広げサッカー観戦明易し
堤 多鶴子
中川原篤子
松延みさと
井上トシ子
田中サトリ
牛島 景子

■黒木町くすの実句会

梅雨晴や首脳握手の視聴率
紫陽花に触れゆく車椅子の列
単線の駅舎を囲む植田かな
新聞の隅にあぢさゐ花便り
パナマ帽麻の背広や父恋し
手をつなぎ渡りし里のホタル橋
紫陽花の陶器の里や被災の地
吉泉 守峰
寺田 睦子
青木 早弓
野崎万智子
松尾満留美
東野 蓉子
松尾アサ子

■立花短歌会

国会の遅々と進まぬ案件に急げ急げと尻叩き
たく
宅急便明日は着くよというメール送りぬ新茶
の香を届けたく
雨の予報に軽トラ急がせ丘の上の少し色づく
梅を摘み取る
大谷の投打に冴える二刀流ベープ・ルースの
記録に挑む
突然の雨に打たるもんしろちよう揺れる葉
うらに羽根休めおり
生花を稽古していたあの頃を思い出させる半
夏生の花
生き急ぎ死に急ぎたるわが友よ楽しき日々と
笑顔残して
重要法案の採決何故に急ぐのか議論を尽くせ
民の声を聞け
愛犬が遠吠えをする真夜中に救急車の音近づ
いてくる
せつかなトラップ大統領には失敗多し米朝
の会談終り
鶴 邦子
樋口 愛子
橋本 泰州
櫻木 敦子
中島 睦美
野中 裕政
田中たつじ
鶴 邦子
樋口 愛子